

ビッグデータ等を活用した交通流動実態調査について（ポイント）

1 調査概要

- ・ 近年の入浴観光者の増加等を背景に、市民等「定住人口」と観光客等「交流人口」の移動が錯綜し、一部の交通結節点や観光地において混雑が生じている。
- ・ 市域における定住人口と交流人口の交通流動の実態を把握し、関連施策の基礎データとして活用するため、平成30年度に、**端末位置情報（スマートフォン等のGPSデータ）**を活用した交通流動実態調査を実施した。
- ・ 端末位置情報により取得した220万件に及ぶサンプルデータを、**京都市民**、**市外居住者（日常移動）**、**市外居住者（観光移動）**、**訪日外国人**の4つの属性に分類し、人の流動が集中する地域、移動パターン、季節、時間帯別による移動特性等の分析を行った。

2 調査結果

（1）市内における流動状況

- ・ すべての属性において、**京都駅周辺及び四条通周辺**への流動が顕著である。
⇒ **図1** ～ **図4** 参照
- ・ 訪日外国人においては、**清水寺**、**嵐山**、**金閣寺**、**伏見稻荷大社周辺**への流動が顕著である。
⇒ **図4** 参照

（2）市内における移動パターン

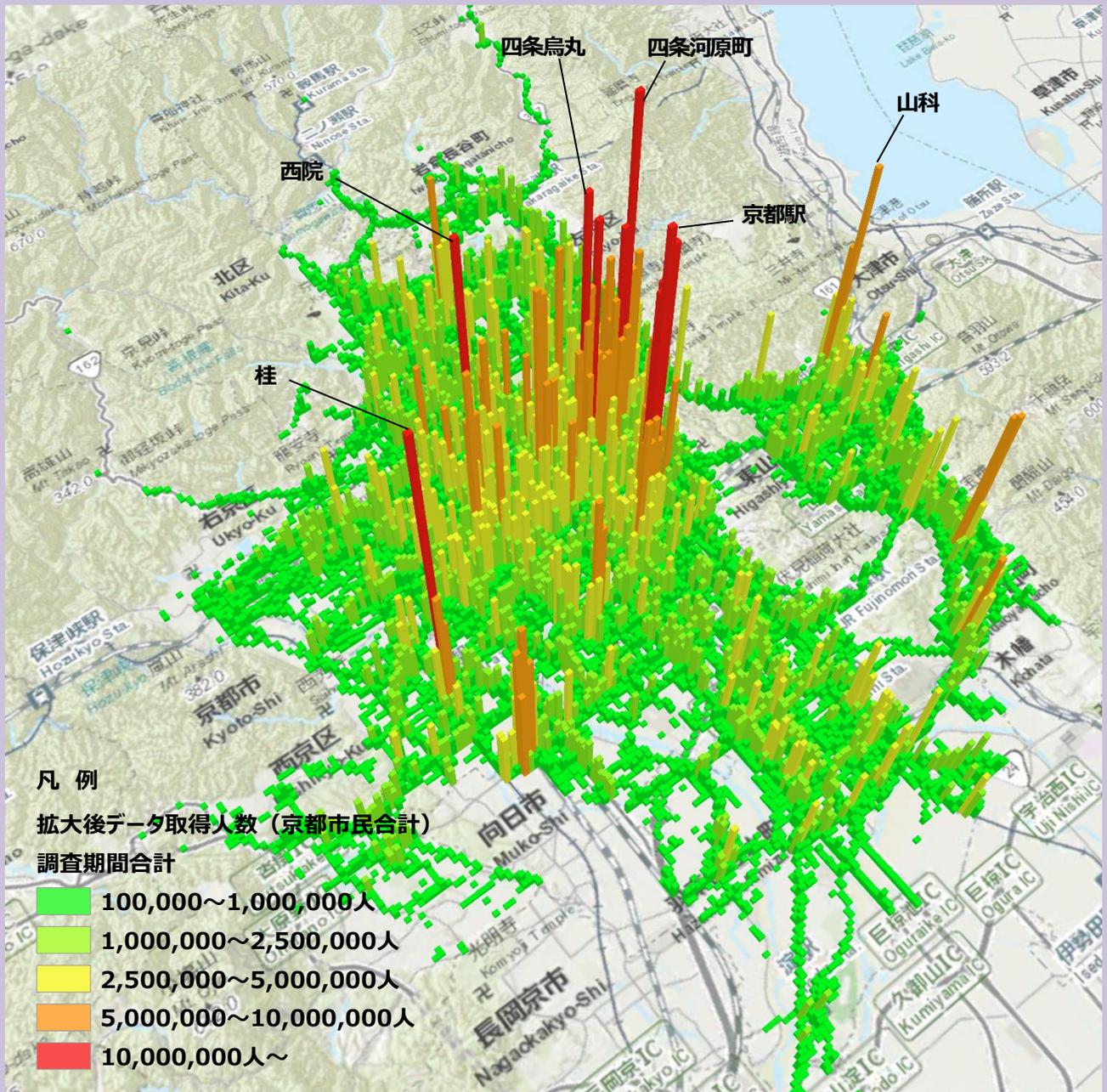
- ・ 観光目的の移動パターンにおいて、**市内の東西に位置する主要観光地を1日で訪問する人の割合は低い**。
⇒ **図5** 参照
- ・ 清水寺と嵐山の間を移動するパターンにおいては、**京都駅を経由する特定の経路に集中することなく、様々な経路が選択されている**。
⇒ **図6** 参照

（3）主要観光地等の流動傾向

- ・ 京都駅では、京都市民等の通勤・通学及び帰宅による流動のピーク時間帯と、訪日外国人の流動のピーク時間帯が重複している。
⇒ **図7** 参照
- ・ 清水寺や嵐山では、観光客は秋（9～11月）、訪日外国人は春（3～5月）に来訪者数がピークとなる。
⇒ **図8**、**図9** 参照
- ・ 伏見稻荷大社では、観光客は冬（12～2月）、訪日外国人は他のエリアと同様に春（3～5月）に来訪者数がピークとなる。
⇒ **図10** 参照

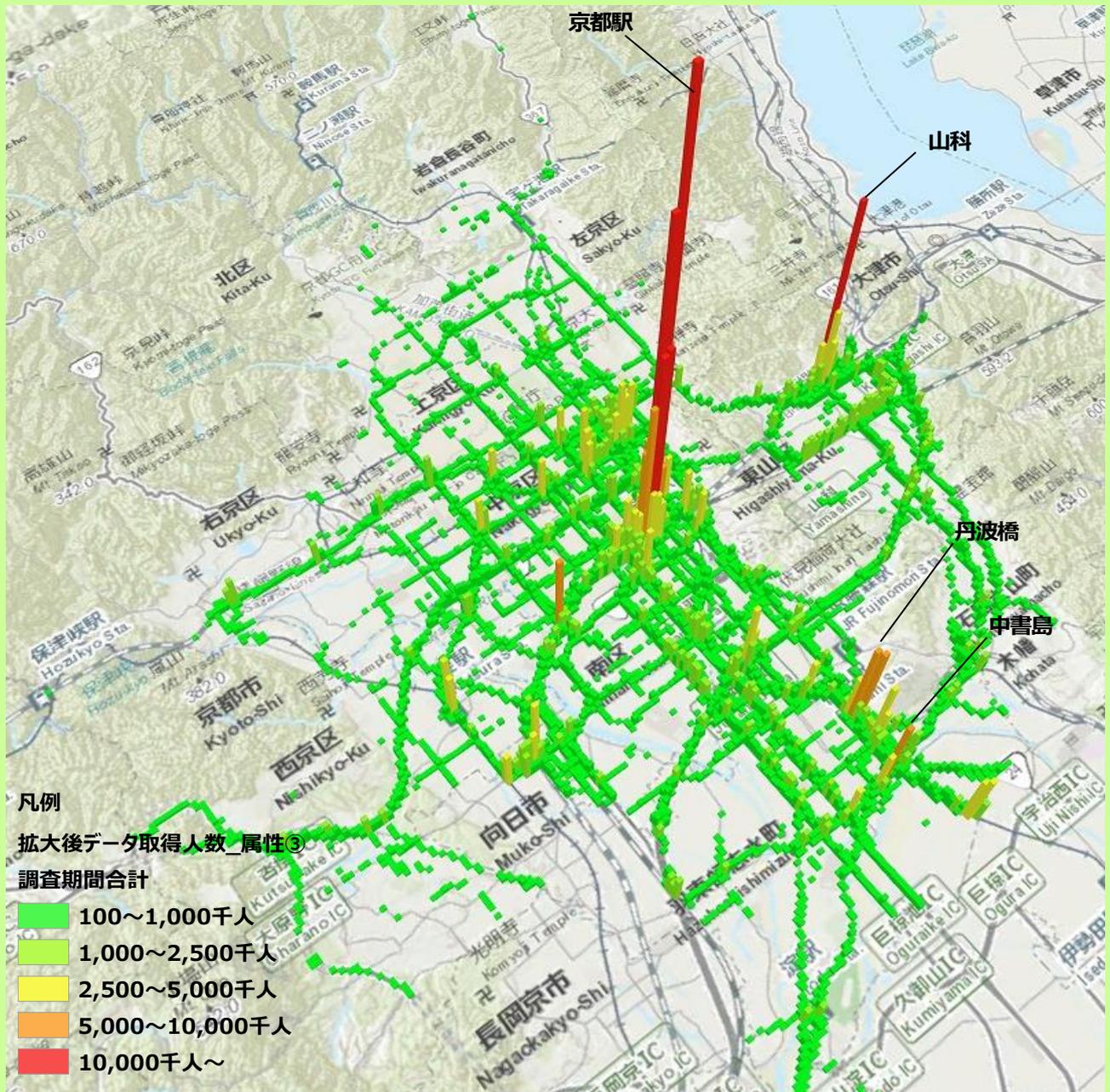
図1 データ取得人数ヒートマップ（拡大推計処理，年間，100mメッシュごと）

京都市内全域 《京都市民》



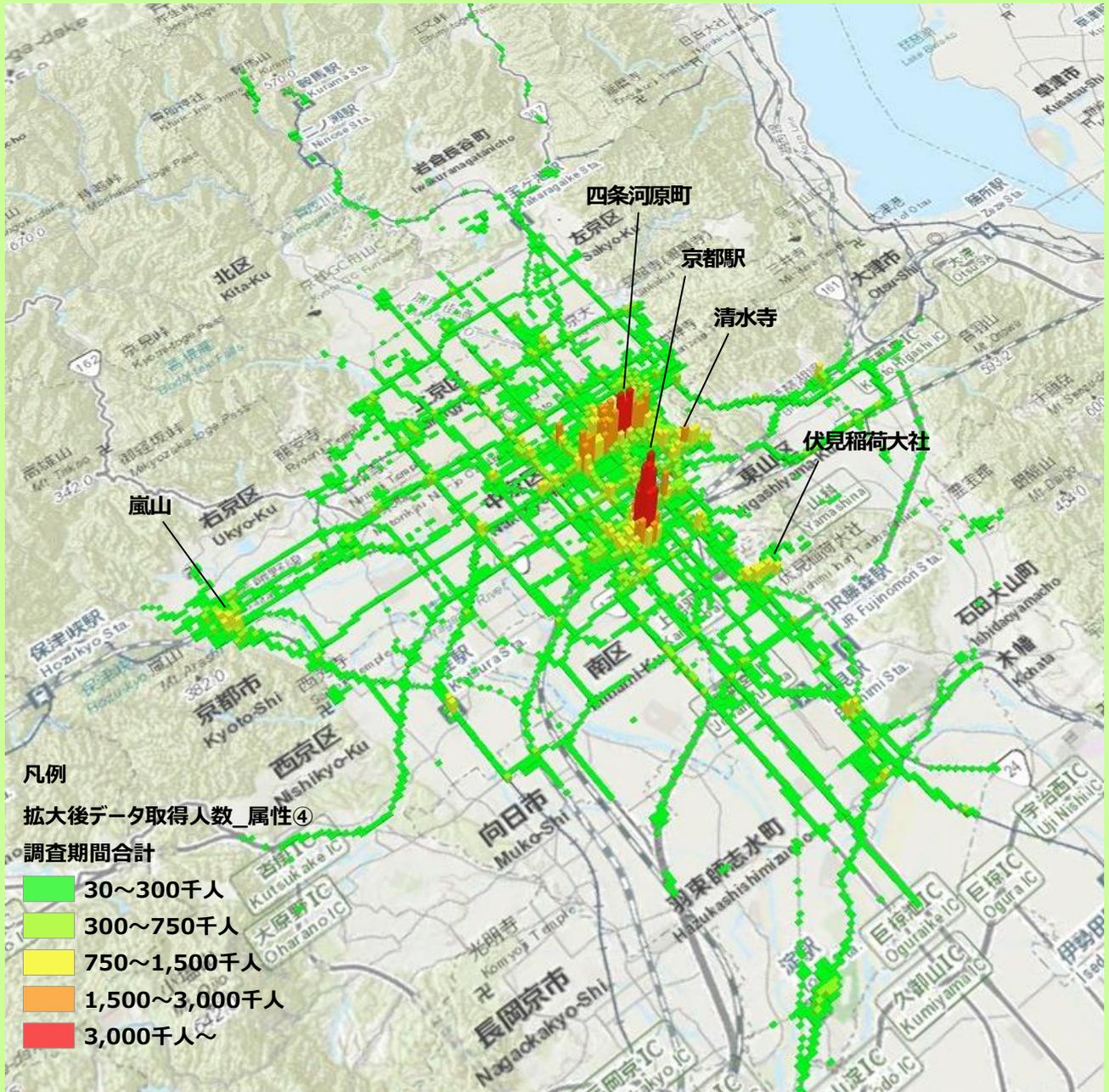
資料：KDDI×コロブラ LocationTrends

図2 データ取得人数ヒートマップ（拡大推計処理，年間，100mメッシュごと）
京都市内全域 ‹市外居住者（日常移動）›



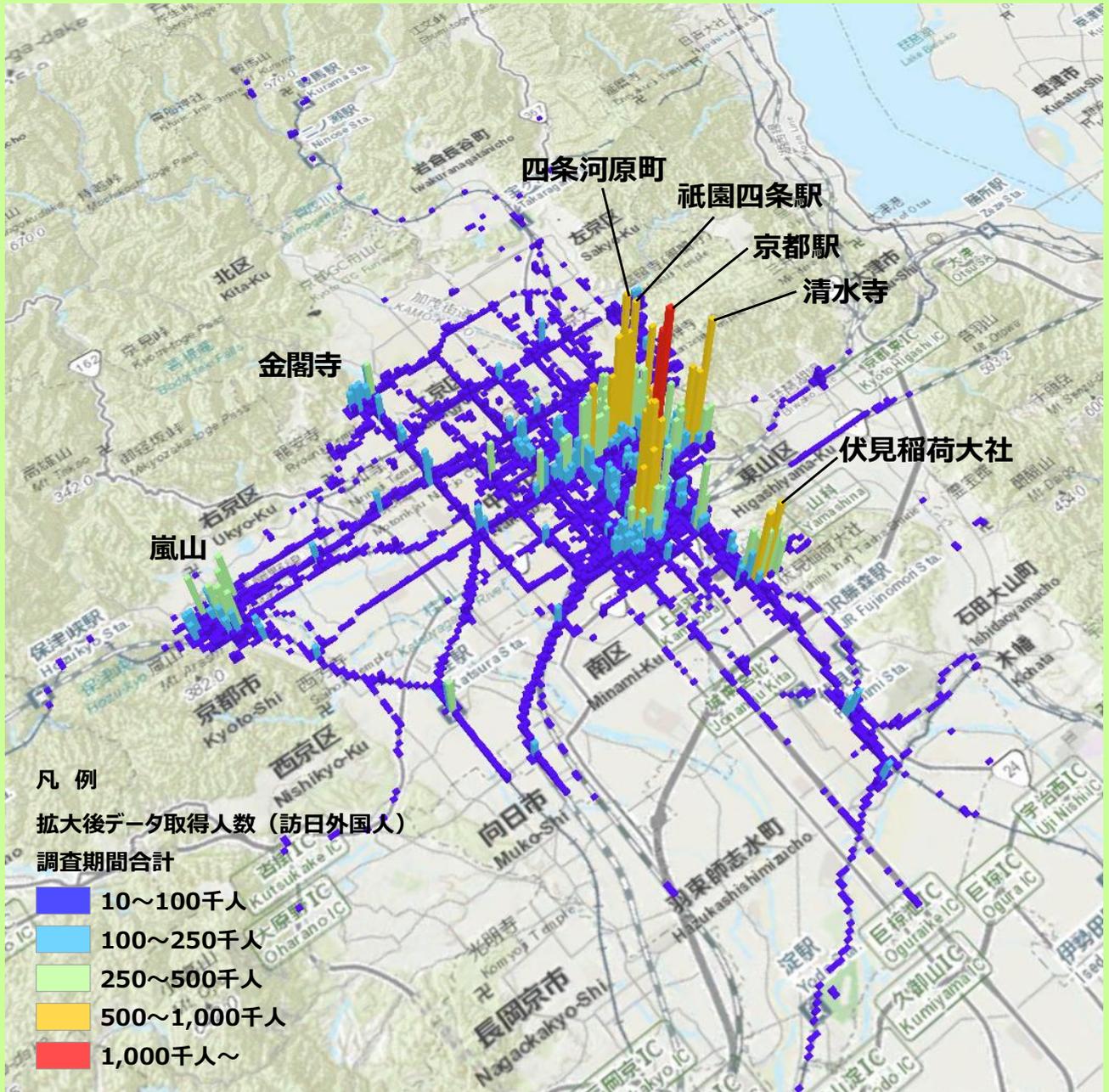
資料：KDDI×コプロ LocationTrends

図3 データ取得人数ヒートマップ（拡大推計処理，年間，100mメッシュごと）
京都市内全域 ‹市外居住者（観光移動）›



資料：KDDI×コプロ LocationTrends

図4 データ取得人数ヒートマップ（拡大推計処理，年間，100mメッシュごと）
京都市内全域 《訪日外国人》



資料：Wi2×コロプラ インバウンド動態調査レポート

図5 「清水寺」と「京都駅」に滞在記録のある人の1日の周遊パターン

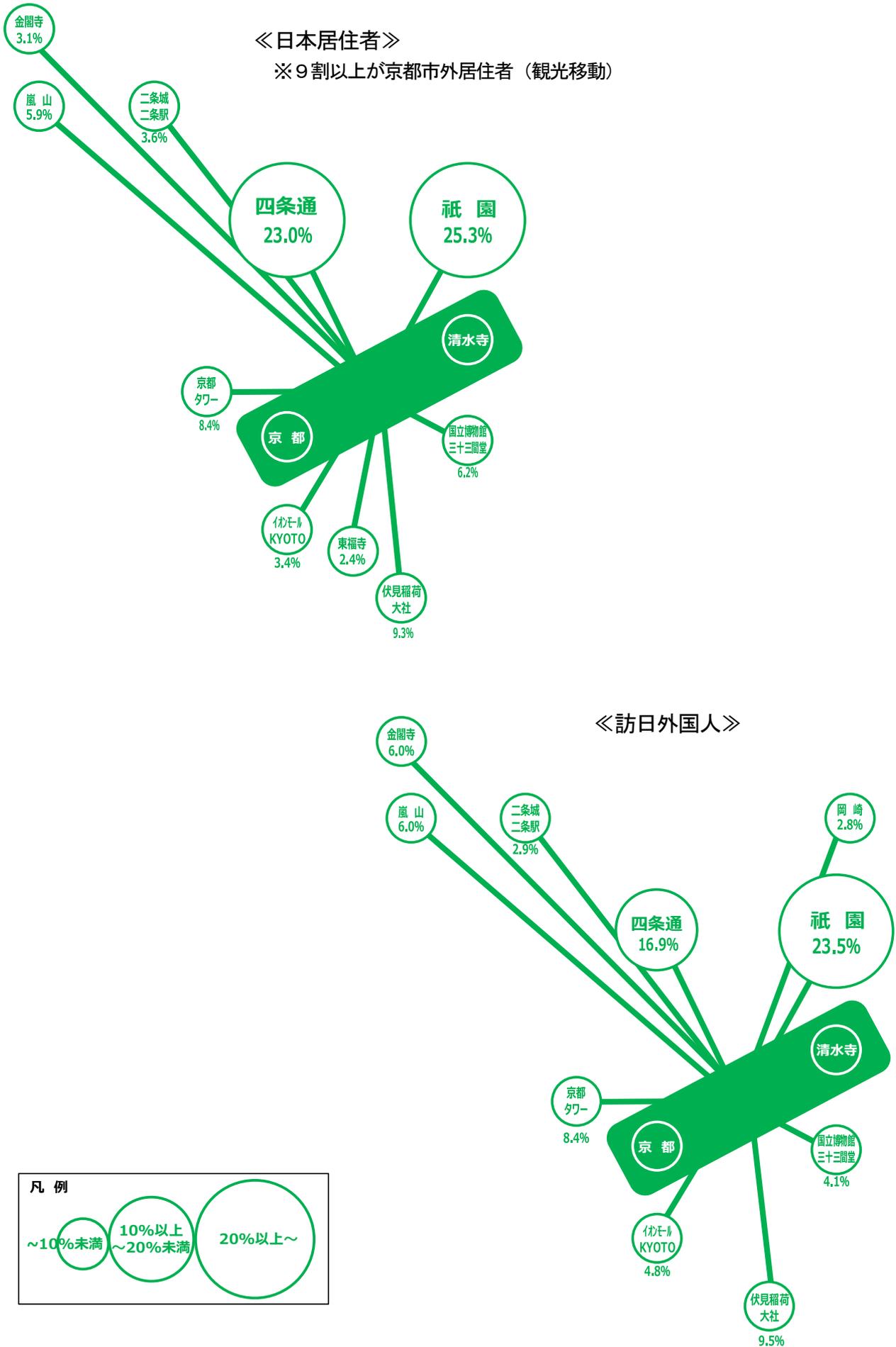
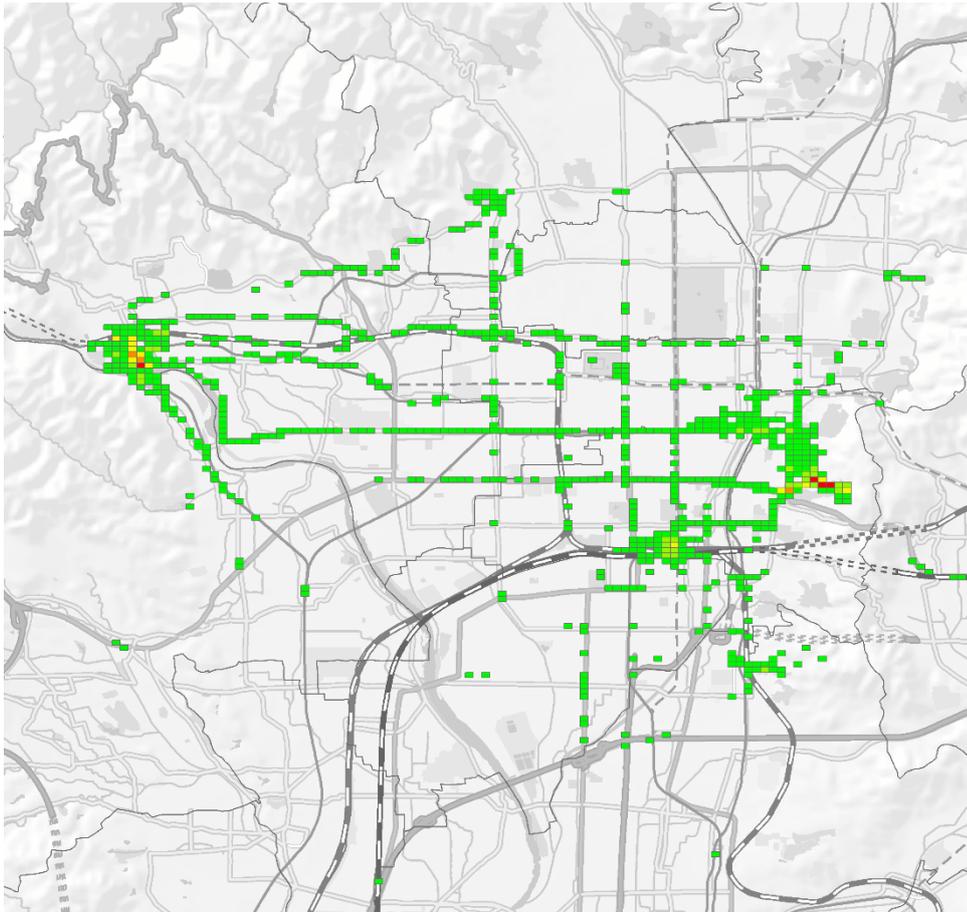
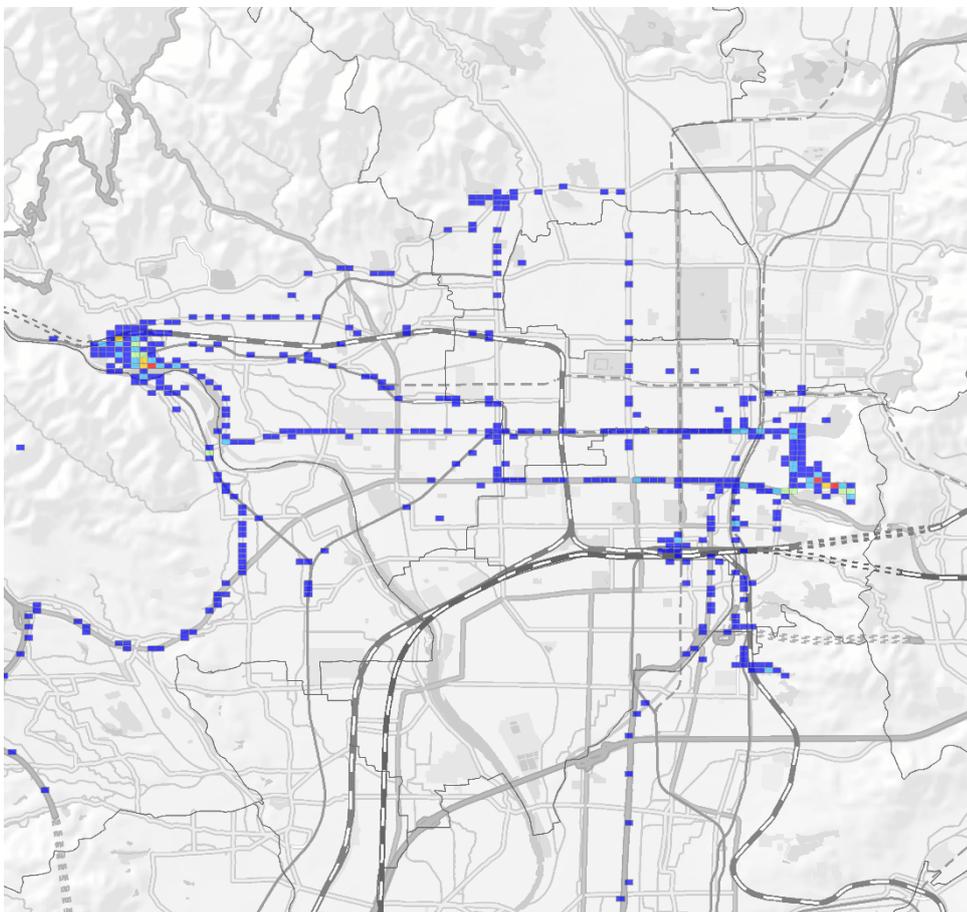
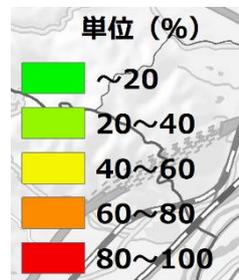


図6 「清水寺周辺」と「嵐山周辺」に滞在記録がある人の1日の移動状況



《日本居住者》
 ※うち、9割以上が
 京都都市外居住者
 (観光移動)



《訪日外国人》

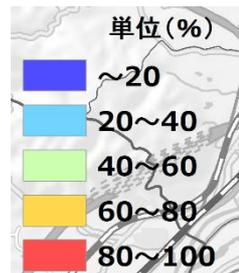


図7 京都駅周辺の時間帯別来訪者傾向（年間）

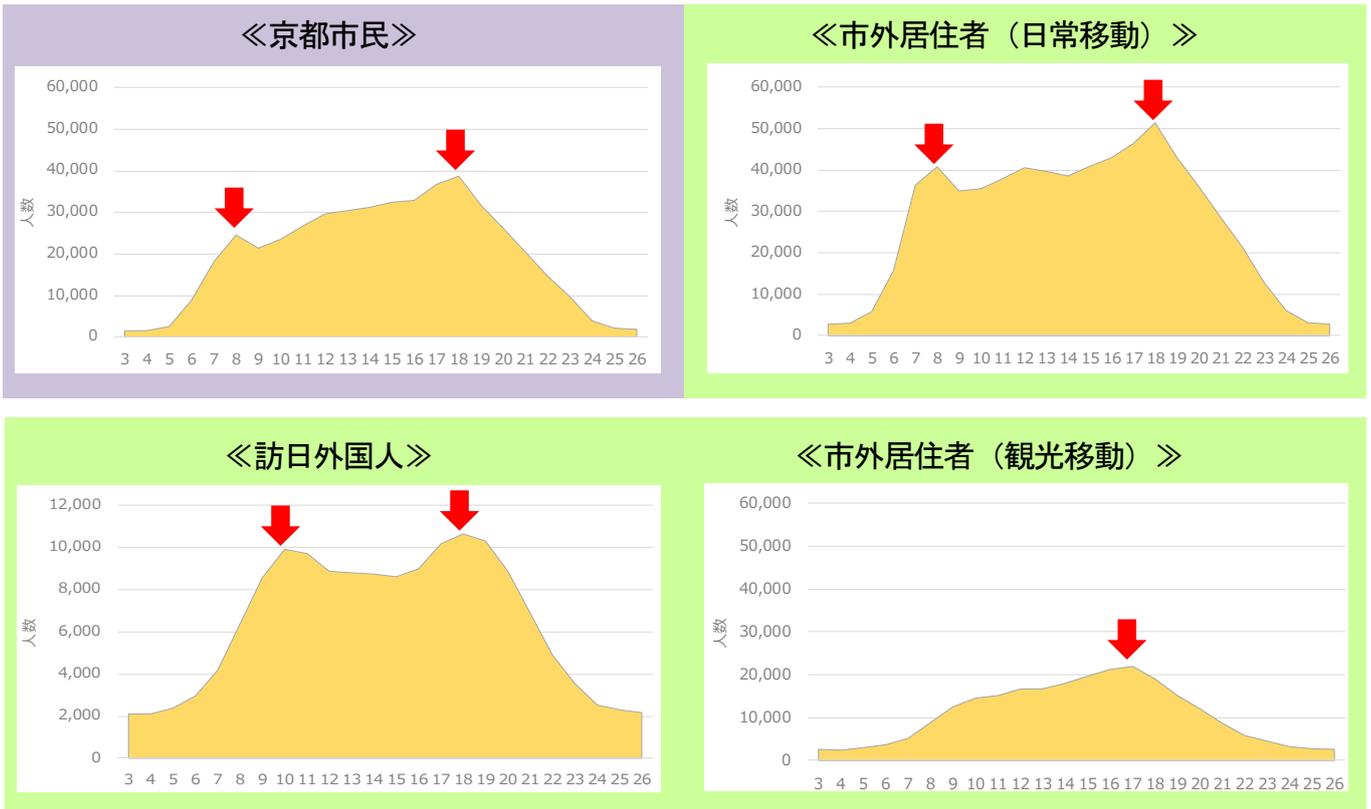
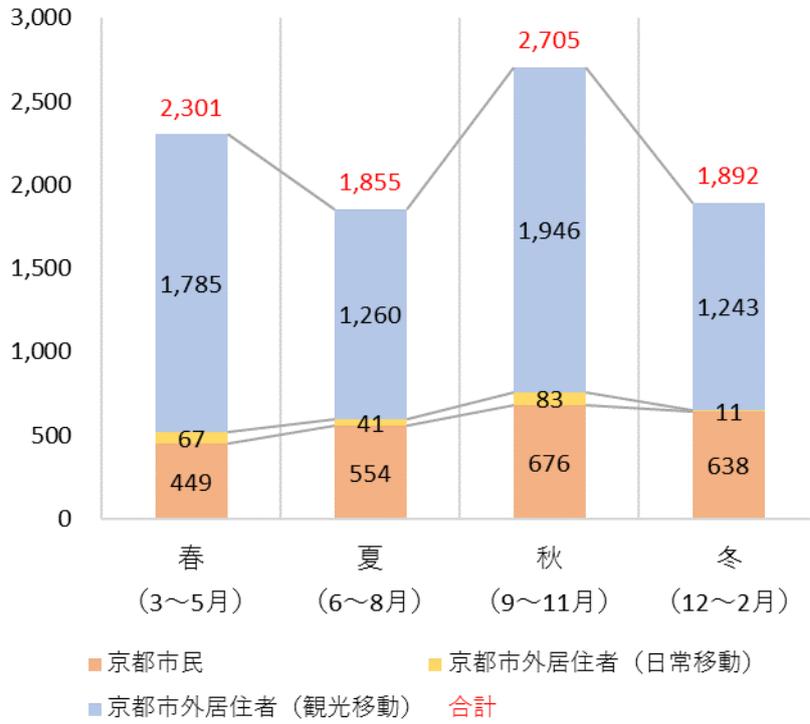


図8 清水寺周辺の季節別来訪者傾向（年間）

《京都市民，市外居住者（日常移動），市外居住者（観光移動）》



《訪日外国人》

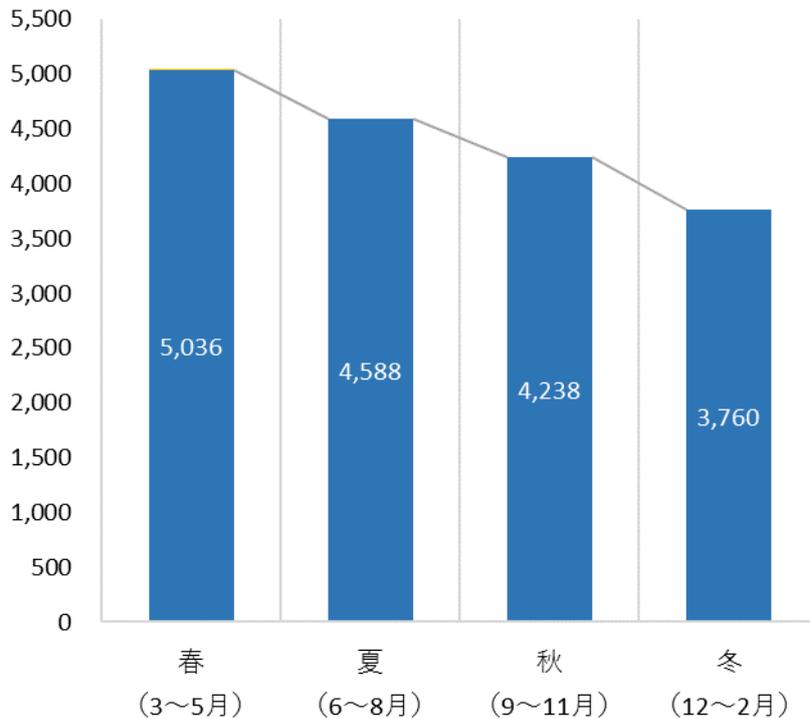
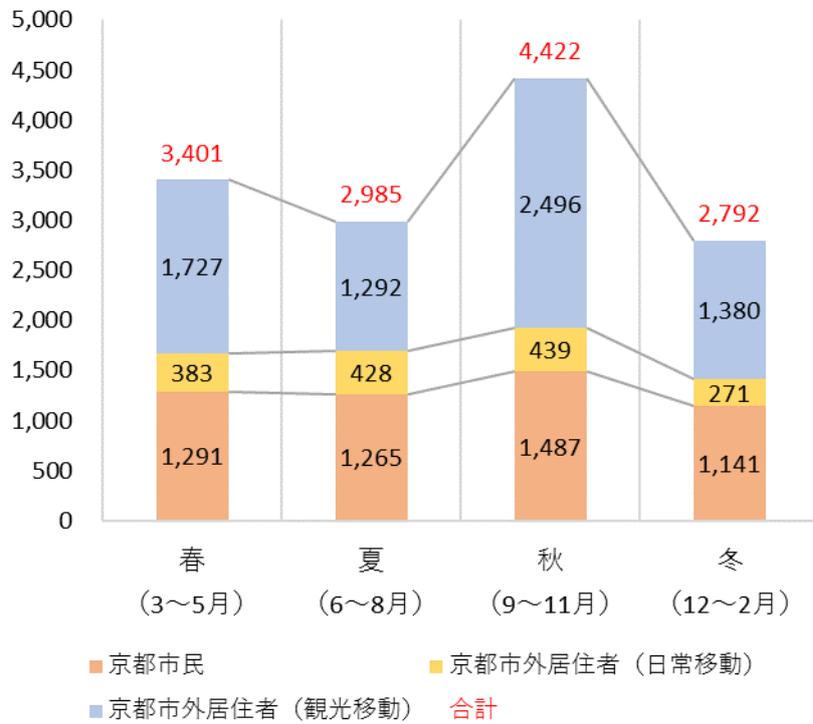


図9 嵐山周辺の季節別来訪者傾向（年間）

《京都市民，市外居住者（日常移動），市外居住者（観光移動）》



《訪日外国人》

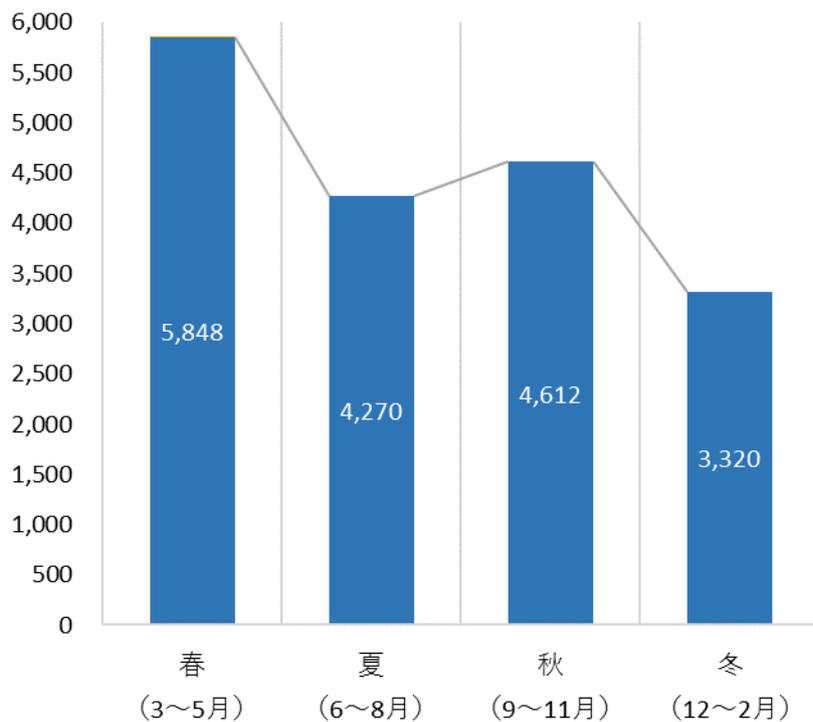
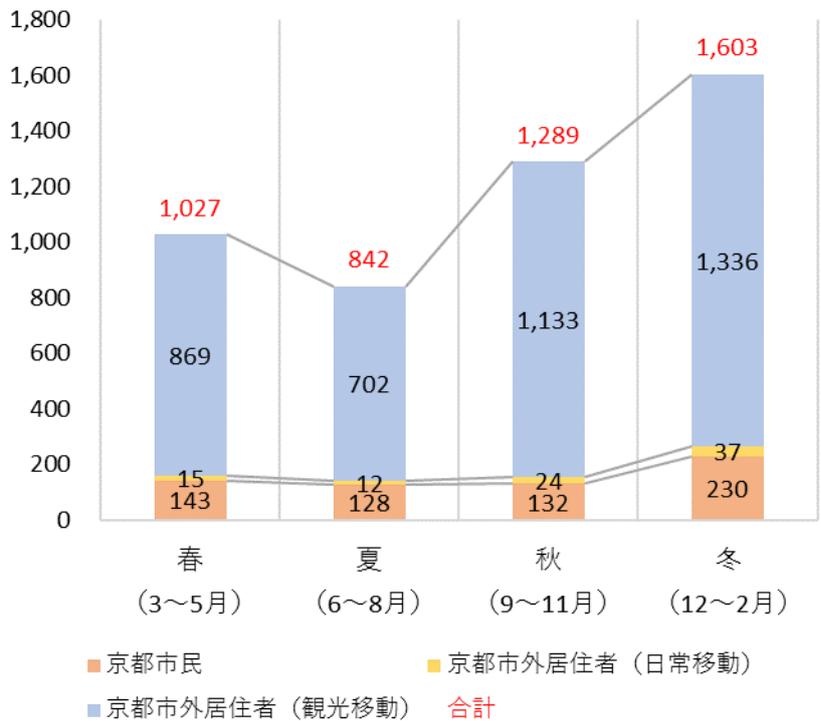


図10 伏見稲荷大社周辺の季節別来訪者傾向（年間）

《京都市民，市外居住者（日常移動），市外居住者（観光移動）》



《訪日外国人》

